

あの子たちのその後の小話
モノクロイラスト&ストーリー

いきながら
吞まれる彼女を
見ていたい

C97特別
丸呑みモンスター
小図録



Lana



Aiko



Mari



Yuil



Aura

本作品は、2019年の12月、コミケ会場及び、同人誌委託業者された同人誌で、製本版のみの取り扱いでした。
DL版は、2021年の5月に、当時のデータに、加筆ページを合わせて作成されました。

イきながら 吞まれる彼女を 見ていたい

C97特別 丸呑みモンスター小図録



やあ。またお会いできて嬉しい。
ラーバタスの世界にようこそ。

今回は、キミが以前に出会った
「あの子たち」が

モンスターに吞まれる姿を
楽しんでらおうと思う。

「吞まれる快楽」というのは、
そうだな、簡単に言えば
「性器をしこかれる感覚」を
「体全身で味わう」という事に
近いかもしれない。

更に、心も深く満たされる。
強い愛情を感じる……のだそうだ。

ん？ ああ、私は吞まれたことは無い。
だが、仕事柄とろけている女を
何人も見て来た。

まあ、キミもあれを見れば、
何か、わかると思う。

ああそれと、もし、キミが
彼女たちの誰かを
好きになっていたらのなら
モンスターに嫉妬するかも
知れないが、そこは
割り切って欲しい。

女がどれだけモンスターに
愛情を感じても、それは偽物なんだ。
モンスターは「愛情」というものを
感じることは出来ない生き物だから。
すまないが、今回は短い。
いそこつ、出発だ。

心優しきシスターの館

修道女：イアンナ

町の外、森のはずれに、捨てられた小さな館があった。その館の中には、1人のシスターがいた。そしてこの館に、みずぼらしい小人(コビト)が訪ねて来た。

イアンナは「モンスターを癒す館」を始めていた。「モンスターの癒し手がないから争いが絶えないのではないか」彼女はそう考えたのだ。

コビトはイアンナに抱き着くと、その体につきに不似合いな巨大な肉棒をイアンナに突き刺した。

怯えるモンスターにイアンナは両手を後ろ手にして彼を安心させた。

開発され尽くしたイアンナの体は、すぐさま反応した。母乳を吹き出しながら快感に震えている。

コビトは狂ったようにイアンナに腰を叩きつけ快感をむさほる。

神はすべてに平等です

ご安心下さい

……

コビトは射精を始める。
射精をして腰を振って
また射精する。
イアンナはそのたびに
絶頂へ導かれた。

イアンナの体が
快楽に反り返っている
ところに、
奥の部屋から
緑色のスライムが
飛び出してきた。

スライムはイアンナを
顔から呑み込み、
イアンナのmanaを
味わった。

コビトは自分の
性器の刺激に夢中で
スライムに呑み込まれていく
シスターに気づかない。

コビトの腰振りは
止まらなかった。

イアンナはコビトに
犯されながら、
スライムに自分のmanaを
与える。

腹の中に注ぎ込まれた
大量の精液は
彼が喜びに達した
何よりの証だった。

グリーンスライム 「チャム」

GREEN SLIME "Chyam"

性器は自由に
生やすことが出来る



この館にイアンナと暮らしている。「チャム」は、
イアンナが名付けた。良く寝る。朝が苦手。

スライムと舌を絡めながら
イアンナは自分の道が
間違っていないかったと
強く感じていた。

自分は癒しを
与えられる存在で
あることを実感する
……しかも同時に
二体にもだ！

粘液シャワーの壺

ギルド受付嬢：刈谷 亜依子

彼女の仕事は冒険にでるのではなく、冒険を紹介する側だ。

そんな彼女もたまには狩りに出てみる。どうすれば、利用者に便利なるか知りたかった。

「あ、珍しい壺がある……あれ、ギルドの入り口においたらおしゃれかも」

初心者でもひっかからなそうなたらップに彼女は引かなかった

壺に擬態していたモンスターは大きな口を開けて、自分の内部を魅せる。

口の中はうねうねと不思議にうごめき彼女は思わず見つめてしまう

女は装備を解いた。そうしなくてはいけないような気がしたからだ。

……これは視覚による催眠術のようなものだ。加えて、頭からは粘液が大量に注がれ、更に思考が停まっていく。

粘液は身体にまわりつき彼女の性感を高める。

モンスターは触手を彼女の股間に挿入させ精液を注入し始めた

彼女の体の中にモンスターの体液が浸み込んでいく

不思議にうごめく口をみつめているとなぜか……このなかに入りたくなるのだ

「思っ壺」にはよく言ったものだ。

モンスターは彼女を呑み始める。

モンスターは
足からじわじわと
彼女を呑み始めた。

粘液のシャワーは
彼女の肌に
まとわりつき
より快感を高めていく

乳房はパンと張り
固く突起した乳首は
早く攻められたいと
求めているようにも
見える。

彼女の膣口には3本
肛門には5本の触手が
ねじ込まれている

激しくはないが
触手たちは
ゆっくりと動き
着実に女を堕とす

強烈な快楽のまま
彼女はモンスターの
中に吞まれていった

吞まれてからも
快楽は止まらない
失神しても
泡を吹いても
快楽は止まらない

残念ながら
ギルド受付の
おしゃれ計画は
次に持ち越した。

ジャーモン Jarmonk



シャワー口は人が
こぶしを握るように動き、
粘液が吹き出す

じっとしてる時は、まさに壺にみえるが、草原や
森を好んで生息するので、明らかに不自然である。
遺跡の中にいれば良いのに。

ランドシェルの調査

海洋生物研究/教授：南沢万里

アカデミーの生徒の一人が最近やたら陸上員(ランドシェル)について質問してくる。

貝と言えど、「陸上」貝については明るくなく、一般的な生物論を答えるに留めていた。

しかし、あまりにも一生懸命に質問する生徒の姿に、万里も何か答えてあげたくなってきた。

それに、よく考えれば陸上にあがった「貝だ。海洋性生物が陸上に適した一例かもしれない。

万里は、俄然興味が出て来た。

万里が来たのは、陸上員が目撃されたことがあるという「砂地」である。

およそ水とは縁のない場所だが、万里はすぐに歓迎された。

砂の中から触手たちが這い出てくる。その触手は海洋生物の持つ特徴に似ていた

万里は直感的にこの触手の「主」に興味を持った

触手たちは万里の体に絡みつくと、直ちに快感を与えていく。触手の本体が、万里を「品定め」しているようだ。

驚いたのは、万里の性感帯である腋をすぐに見つけたことだ。

万里の体は快楽に支配されていく。触手たちは万里に強い快感を与え続け、万里が思考を失った頃本体が顔を出した。

カラダを絡めとられたまま
万里は呑み込まれる

物凄い快楽だ。
万里の「腋」にも
数本の触手がねじ込まれ、
腋の中へ精液を注ぎ込んでいる

「私のことを、
よく知っている」
腋の快楽を感じながら、
万里は、まるで
恋人に抱かれている
ような気分になっていた。

気を許した瞬間、
万里は孕まされた。
孕まされたまま、
万里は犯され続ける。

うねうねと動く肉壁が、
体をしごく。
まるで体中が
性器になったみたいだ。

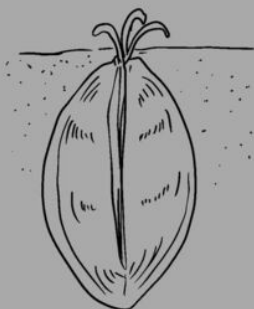
呑まれることがこんなに
気持ちいいなんて。
こんな体験をしたら、
女は簡単に堕ちてしまう。

万里は連続絶頂に
失神寸前の中、
例の生徒に
された質問

「モンスターと人は、
愛し合えますか？」
彼女の真剣な目を
思い出していた。

ボンゴン

Bongun



「巨大なあさり」と思って頂いて構わない。砂の中に棲み
触手の「検査に」合格した女のみ襲う。まさに美食家。
獲物用の「ベッド」は大量の触手がお迎えし、襲われたら
あさり無しでは居られない体になる。オルニチンも摂れる。

学生ママは大忙し

アカデミー学生：ユイル

彼女の自宅には
一匹の小貝がいる。

名前はシータという。

環境が良いのか
シータはすすくと
大きくなり
大食漢になった。

ユイルは学業と餌探し
この両立に日々
追いかけていた。

しかし、ユイルは
とても効率良く
「餌を手に入れる方法」
をみつけた。

人間と同じように
「モノをため込む習性」
があるモンスターも
いるのだ。

このモンスターは
食糧庫が満杯でないと
不安になってしまうらしく
彼の食糧庫は常に
満たされていた

彼はユイルに
肉棒をぶち込むと
ゆっくりと腰を
動かし始めた

ユイルはすぐに
みだらに
悶えた

彼女は
欲求不満
だったようだ

ユイルは自ら腰を振り
モンスターの肉棒を
むさぼった。

ユイルの体は
敏感に反応した。
乳房はあつというまに
大きくなる

ユイルは
彼と取引をしたのだ
自分のマナと引き換えに
食料を分けてもらう。

もっとも、シータに
バレないよう、
孕ませないという
「約束」でた。

ごめん……!!
またちょっとだけ
わけて頂戴……!!

レポートが
多くって
餌を探してる暇が
全然ないの

彼は丸呑み
モンスターだった。
とろけ出したユイルの
マナを頭からしゃぶった

ユイルは
痙攣しながら
されるがままに
犯される

連続する絶頂に
ユイルの乳首からは
激しく母乳が吹き出す

残念ながらユイルは
孕んでしまった
快楽に心が
吞まれたのだ。

「またシートに怒られる」
ユイルはそう思ったが
巨大な快楽に抗えなかった。

モンスターは
失神したユイルを
約束の時間まで
たっふりと味わった

ひとつ 疑問があるだろう。
「マナを売って食料に
換えなくても
ユイルのマナをシートに
与えれば良いのでは」？

そうはいかないのだ。
母親役のマナばかりに
慣れさせてしまうと
モンスターは
狩りをしなくなる。

ユイルは
シートがきちんと
野生に戻るように
あえて、カランダを
与える回数を
制限しているのだ。

その日は、いつか来る。
辛い別れに
なるかもしれない。
人とモンスターが
愛し合うとは
そういうことだ。

Pilumet

ピルメット

中型の丸呑みモンスター。大きな口に色々なものをためて、巣に持ち帰る。こう見えても、知能はかなり高い。

人間を完全に呑むと動きが鈍くなるので、安全な場所以外では半呑みしゃぶり状態が多い。

だがそれが人気という噂もあるのだから世の中というものは多様性の塊である。



つながるココロとカラダ

魔法使い：アウラ

お酒が大好きなアウラは、それほど強くない。稀代の魔法使いアウラもそういうタイプの女性だ。

本来、騒がしい所は苦手なアウラでも、年の切り替え時は、各地の祭りに顔をだしなくてはならない。人気者は、忙しい。

しかし、地域ごとの葡萄酒は絶品だ。アウラは勧められるままにすべて飲んできた。

ようやく解放されたのは年が明けてからだ。

おぼつかない足取りで帰路につく道すがら、哀れなモンスターが一体寒さで震えていた。

ここは、昼間の催しで古代器具を使った模擬戦が会った場所だ。

可哀想に起こされてしまったのね

こっちにいらっしやい

アウラは、寒さで震える彼を大きな樹のうろの中に招き入れた。

その慈悲深い性格のせいか酒の深酔いのせいかわり始めた。アウラはモンスターと

モンスターは次第に暖かくなりいくつもある肉棒を硬くし始めた。

いきり立つ何本もの肉棒は、早くアウラの中に入りたがるアウラは自分の乳房も使い彼の肉棒を慰めた。

モンスターは快楽の刺激に震えアウラにきつく抱きつきながら肉棒を何度も出し入れた

アウラは彼の強い抱擁を感じた。

そして「大樹のうろ」の中にいると

どこか懐かしくて安心した気分になる……

アウラは気を許してしまった。

モンスターは自分の「しっぽ」をアウラに巻き付ける。短い脚同士を組み合わせひとかたまりになった。

アウラの両乳房と膣、肛門、そして口の中には肉棒が激しくピストン運動をしている

モンスターはアウラの中に精液をたっぷり注いだ。アウラは、深い快楽を味わいながら

モンスターのしたいようにさせていた。

モンスターはもう優しいアウラと離れたくなかったのかもしれない。

このまま、さなぎになろうと、アウラを必死で抱きしめる。

アウラも、喜びの声をあげながら彼の背中「に」手を回しさらに強く自分の腰を叩きつける

彼が喜んでくれるのが何故か嬉しかったのだ。

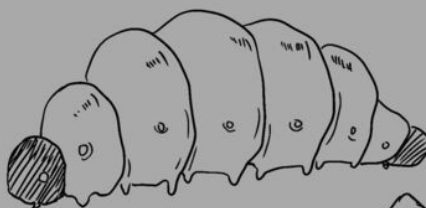
そして……気が付けばアウラ自身の腰も動いていた。

アウラは、全身を痙攣させながら絶頂に導かれていく

でも、一晩ぐらいいは、さなぎにはならない。新しい年は彼に抱かれて始める事にしよう。

アウラは絶頂の中帰らぬ待ち人を想いながら深い眠りに落ちて行った。

Mosbeler モスピラー



多根モンスター。絶倫の勢力を誇る。口が前後にある。さなぎになる時には、カラダがボールのように融着する。そのときに女を捉えられると育成が全然変わってくる。大人になると、子供に大人気のモンスターになる。幼虫の時期は女に人気である。

エクストラステージ

剣士：南雲美憂

「お姉ちゃんを
超えたい」

有能な剣士の姉を
もつ彼女は
行ってはいけない
場所に向かった

「ロンテール川を
超えなければ大丈夫」
禁断の場所、ハイア高地へと
向かう彼女に悪夢が襲う。

見たこともない
モンスターだった。

「勝てっこない」
彼女は一目見て、
戦意を失い
自分の愚かさを呪った

ぎよろりとした
目に睨まれ
美憂は

射貫かれたように
動けなくなった

美憂の腹には
異形の男根の形が
くっきりと
浮かんでいる

装備を
自分で脱いだのか
脱がされたのか
解らない

そして

腕なのか足なのか
その玉ねぎのような
モンスターの
あたまから、

大きな「ふくろ」の
ようなものが
大きく広がる

美憂が
気が付いた時は
こうなっていたのだ

美憂は男根で
腹をかき回され
ながら、

吞まれていく。

息が苦しい
意識が飛ぶ

このモンスターは
「優しくない」

薄れゆく
意識の中で
美憂は知った

明らかに
女をよからせる為の
行為ではなく

もっと支配的で
もっと残忍だった

それでも、美憂は
イカされてしまった

袋の筋肉で
体全体をシゴかれ
精液をたっぷり
のまされ

何度も何度も
いきながら
モンスターに
吞まれていく。

アンノウン(未知生物)

Unknown

目撃例が少ないこと
そして捕獲され、生還した
女でも、心が壊され
このモンスターに
ついて話すことを拒む
女が多いので
情報が殆どない。



魔法種族と
思われるが
「残忍である」
以外、詳細は
一切解らない。

一瞬、
優しい姉の顔を
思いだしたが
それも精液に
沈んでいって

こんな状態でも
美憂は自分の腰が
快楽を受け入れている
事を知った



すまない、今回はもう終わりだ。
短い時間だったが、
それなりに詰め込んだつもりだ。

……ああ、彼女たちが心配か？

あれは、彼女たちの選んだ、一つの選択肢だ。
並行世界にはいくつもの世界があるのは、
キミも知ってるだろう。

自分が壊れてしまうまで、
快楽に浸れるのが、この世界なんだ。

いや、つくり話なんかではないぞ。
明らかな質感を持った、現実だ。
だから、彼女たちも必死なんだ。

私に触れてみるといい。
これが幻か？

……何を照れているんだ？
こちらも照れるだろう。

……なに？
お話をもっと見たいって？

キミの本棚に、彼女たちとの
冒険の記録があるだろう。
それを見返してほしい。

なに？無い？それは弱ったな。
まあいい。

この「異世界ラーバタス」には、
まだまだたくさんさんの冒険が
キミを待ち受けている。

いつでも待っている。
また来てくれ。



END

本誌は2019年12月冬コミ用に作成された特別冊子です。
本誌単体でのDL版は存在しません。
(おそらく他作品と同時収録になります)

*……の予定だったのですが、DL版希望のお声を頂き、
2021年5月に、DL版しかも単体で出版されました。

愛してます(*'ω`*) ご常連様各位



出典作品

製本版は、とらのあなさん、メロンブックスさんでお取り扱い頂いております。
* 製本版で残っているものは、数に限りがあります。

DL版はすべて、販売中です。

DLsite.com さん、 Fanza.comさんにてお取り扱いいただいております。

また、BOOTHにてPDFのDL販売,自家通販もおこなっておりますので、ご利用ください。



イアンナ

「DRIP TRAP」

Comitia124 2017/06/24

シスター イアンナが、スライムとの
交わりに、色々なものを
失っていくお話です。
前編は、ひそかな禁忌なる交接を
後編は、それがバレてさらされます。

しかしスライムってなんで
あんなに魅力的なんですかね。
不定形生物とかほんとと最高
ですよめじほんと



刈谷亜依子

「BODY ARMOR」

In MERISONs DUNGEON

Comitia125 2018/08/19

「メリゾン」という不思議な
モンスターを求めて、
地下のダンジョンに降りていく女たち。
競泳水着のように見えますが、
「ボディーマー」という装備です。
競泳(競泳って言っちゃってる
じゃないの)×モンスターという
ニッチなあなたの性癖に
ぴちぴちにジャストフィット。
カラー作品です。



南沢万里

「腋姦マーメイド」

C96 2019/08/16

ラーバタスの世界には、「人間と精霊のあいだ」の種族が存在しています。マーメイド族の血を引く彼女はなんと「腋に穴」があり、そこが最強の性感帯です。

腋に射精されながら犯されるというこんなシチュエーション。

他には無い、最高の世界が、ここに。



上坂ユイル

「貝姦 イミテーションオーブ」

C95 2018/12/31

アカデミーで、なかなかうまくやれないユイルは、いつも一人だった。ある日、アカデミーで人気者の女と友達になる条件として提示されたのが「オーブ」。陸上貝が持つというオーブの探索に挑戦するユイルだったが、相手が一枚上手。

この世にあふれる「偽物(イミテーション)」に翻弄されるユイルのお話。



アウラ

「乳首蟲」

C96 2019/08/16

ひょんなことから、「乳首蟲」に噛みつかれてしまった、爆乳魔法使いのアウラ。いろいろ試して、必死に取り戻しますが、最後には乳首蟲が乳房の中に入ってしまう……と、夢のような最小最高モンスター「乳首蟲」のお話です。

乳姦に乳首蟲ですよ。この世界を好きになって良かった……としみじみ感じる一冊です。

ああ！この素晴らしき世界よ！！

お世話になっております。高石です（社内メールの書き出しか）。

【あとがき】

今回、短く、しかもオムニバス形式となりまして。

楽しみにして下さった全国 16 名の（すくな）皆様には、誠に申し訳なく思っております。

しかも、既刊の宣伝みたいな新刊になってしまいましたが、描いてる時は「自分の知ってるあの子」をいろいろしてしまう訳で、かなり興奮しました（お前がか）。

見開きでどれだけ世界を感じて頂けたか解りませぬが、時間とスペースの許すかぎり、頑張ってみました。

じつわですね。ワタクシゴトながら（ワタクシゴト以外を書いた事など無いのですが）
こないだの 11 月末に引っ越しがありまして。

これがもう。詰め込み、箱だしにめっちゃ時間がかかりまして。

更には、こんなに動けなくなったか！と、思うぐらい、カラダの動きが遅くなっておりまして。

おじいちゃん、休憩がいっぱい必要でした。

そして家具の配置……いやその前にウチの場合「家具の制作」から入るので、さらに時間が。

家具製作用の木材と、ダンボール、開きかけの荷物に、PC を展開するスペース等がなかなか決まらず。

更に引っ越しで生活が変わり、お仕事もいろいろ変わりまして、その挨拶だの根回しだので移動も多く。

ああ、こりゃ新刊無理だ……ってぐらいに奔走しておりました。

とにかく、なかなか PC 前に座れずだったのですが、今回活躍してくれたのは、iphone と ipad です。

絵を描く時間がない以上、文字は多めにしよう。Iphone なら、移動の電車の中でも打てるじゃないすか。

でも、それ言ったら絵も Ipad で描けないことは無いんですけど、あどけない女子高生に横から覗かれて

「ひょ、ひょっとして高石ふうさんですか！？」とか言われても困るじゃないですか。

「いえ、人違いです」とかカッコつけてその後ツイッターに晒される展開じゃないですか。

そんなことは良いんです。ちょっとの時間集めて描けたので、ipad 便利というお話でした。

上記のように、少し生活と、お仕事、

そして制作環境がめっちゃ変わりました。

日中のお仕事も 3 つほど辞めたりしました（いくつやってんだよ）。

2020 年は、期待してください。描きますよ。

生き残るために。

また次回も是非お会いしたいと思います。

新生高石を、どうぞ、お見捨てになりませぬよう！

2019/12 激安スーパー近所に見つけました 高石



【奥付】

誌名：「イきながら呑まれる彼女を見ていたい」

初版：2019年12月30日(C97)

サークル名：らばた工房 (EroticFantasyラーバタス)

著者：高石ふう (support@larvatur.skr.jp)

印刷：栄光印刷

【製品取り扱い】

- ・製本版：とらのあなさん メロンブックスさん
- ・DL版：単体ではありません
- ・自家通販、販売 BOOTH「らばた工房公式通販」





エクストラステージ出典ヒロイン

南雲美憂

「水辺の爆乳 獲物語り」

C92
2017/07/22



美憂ちゃんをはじめとした巨大な胸の女の子たちが、水辺でモンスターと戯れます。製本版ではじめて見開きを採用し、迫力の画像となっております。

が、デジタルだと、「見開き迫力！」とか言ってもモニタサイズ次第なので、ただの横長の文章つき画像になってしまっております。

デジと製本版のバランスの難しさを痛感した作品でもあります。

ATOGAKI

本日は、2021年5/12です。マジ本当にすみません。DL版出さずって言って出さなくてすみません。

この「モンスター小図録」は、C97、2019の12月に向けて作成されたもので、となると、制作は2019/11月ぐらいだと思うんですけど、当時は、ちょうど大引越しの真ただ中でありまして。

たまりにたまった同人誌やら図鑑やらの整理で腰をいわしつつ、引越して離れるお仕事などの引継ぎもしつつでC97を無事乗り切り、2020年を迎えたわけですが、そこから皆様ご存知のように、コロナ旋風です。

本作は、ごらんのように、ラーバタス作品にしてはかなり短く、単体で出すのはどうかと思ひまして。DL版はその2020年の1本目におまけとして付けようと思っていた作品です。それが奥さん、2020年は新作ゼロですよ。「コミケが無い＝締切が無い」が、どれほど作り手を堕落させるか、身に染みて解りました。

2021年には新しいシリーズ「MonsterTours！」を始めましたが、本作をおまけにすることを完全に忘れており、Pixivのコメント欄にて教えて頂くといういたらくです。悪いのはすべてコロナです。コロナが悪いんです。うそです。高石がバカだけです。

おわびと言ってはアレですが、お待たせしてしまったので、本作DL版には、エクストラステージを追加させて頂きました。ちょっとだけ現行シリーズの色を出しています。あ、そうだ、その現行シリーズなんですが、「世界の解説」を漫画でやるとこんなにも冗長に、しかもどっちつかずになってしまうのかと悩んでいたのです。が、エクストラステージを描きながら「この小図録スタイル、アリじゃない？」ってちょっと光が見えました。愛する皆様を思っていた事が自分を導くなんて、なんという少年誌展開！（いや、約束忘れるなよ）

とにかく、すみませんでした<(_ _)> ご指摘を拝見したときは心臓止まりました。今は動いています。

次は「MonsterTours！シリーズ（GoToシリーズでもどっちでも）」の#03でお会いしましょう！

2021年5月 高石ふう



らばた工房
Twitterです



らばた工房